

平成 27 年 9 月 1 日

臨地実習（臨床実習）における感染対策に関する取扱要領

保健医療学部 臨地実習運営委員会

はじめに

日本環境感染学会では、平成 26 年（2014）9 月 25 日に「医療関係者のためのワクチンガイドライン」第 2 版を公表しました。今回の新たなガイドラインでは、第 1 版で指摘を受けた現場の実情にそぐわない部分や実施にあたって誤解を生じやすい部分などについて精査や見直しを行い、さらに 2013 年 4 月に改正された予防接種法にも対応することを念頭に改訂作業に取り組んだものであることが序文に示されています。

上記のガイドラインで対象となる医療関係者とは、事務職・医療職・学生・ボランティア・委託業者を含めて受診患者と接触する可能性のある常勤・非常勤・派遣・アルバイト・実習生・指導教官等と示されています。本取扱い要領は、保健医療学部所属の各学科学生が履修する臨地実習（臨床実習）が医療安全の面からも十分に配慮された中で実施されるよう、実習時における感染症対策の基本的な考えと施策をまとめたものです。

保健医療学部における感染症対策の基本的な考え

保健医療学部（以下本学部）は、保健・医療の専門職の養成を目的とした教育機関であり、医療施設またはこれに関連する施設内での実習は不可欠な教育課程科目となります。そのため本学部学生は、いわゆる一般人に比較して様々な感染症に接する機会が多く、特に実習中に血液に触れる機会があり、血液を介する感染症罹患の可能性も考慮する必要性がありました。本学部に所属する 5 学科は、それぞれの養成規則に示された臨地実習（臨床実習）が決められており内容が異なります。そのため学部全体での感染対策を設定することは困難ですが、すべての学科において、臨地実習（臨床実習）受講学生および引率教員が実習施設内での行動に際して感染性微生物との接触の機会が生じることを前提にしたうえで、感染症に対する準備と意識の醸成が必要と考えました。

本学部に所属するすべての学生は、感染症がすべて発症する疾患でないこと、つまり症状がなくても感染源としての期間があること、また感染しても発症までの潜伏期の中に感染源となって微生物を散布する可能性があることを十分に知っている必要があります。そのうえで、これらの感染症を予防するために、第一に種々の感染症に対する自分自身の免疫を知ること、第二に免疫がない場合には予防接種により免疫抗体を誘導することが重要であることを認識しなければなりません。

本学部における感染予防対策への対応は、別表 1 に示したように義肢装具学科を除いて入学時より小児感染症（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）に対する抗体検査と B 型肝炎に対する抗体検

査をそれぞれの学科の実習時期に合わせて実施し、各自が自己の免疫力をどの程度保持しているか自覚することから始めています。なお、上記の感染症に加えて各学科においては、臨地実習（臨床実習）に備えて学生の皆さんから母子手帳などに記載されている予防接種記録を任意に聴取し、記録と保管することで、学生の皆さんの現状を正確に把握するように備えています（別表2参照）。なお、本記録には本学での健康診断時に実施する抗体検査の記録を含めることとし、これを医務室で一括保管することで個人情報の保護にも努めるよう配慮しています。

予防接種履歴と抗体検査結果から、抗体価が低下しているまたは抗体価が無い場合は任意ですが、委員会として予防接種を勧めています。特にB型肝炎については、実習項目の中に観血を伴うものがある場合、実習学生と引率教員に対して出来るだけ予防接種を受けることを勧めています。

おわりに

臨地実習（臨床実習）は、本学部所属の学生の皆さんがそれぞれの専門領域について、実際の医療現場で実際に学ぶことが出来る重要な教育プログラムです。従ってこの実習が履修する学生と指導教員のみならず、患者、医療スタッフ、院内来訪者等すべての対象者に対して、感染制御学の立場からも安全にかつ有効に実施することは大変重要な要件となります。実習の安全性をしっかりと理解し、学生本人だけでなく関係する周囲の皆様への配慮も十分に考えたうえで実習を行うためにも、感染症対策は重要なものとなります。この意義を十分に理解して、対策を怠らないよう各自留意することが重要です。

臨地実習運営委員会では、本取扱要領を定め、各学生が臨地実習（臨床実習）を履修する中で感染症予防に対する準備をしっかりとしたうえで、十分な成果を挙げる事が出来るよう期待しています。

各学科の感染予防対策プログラム

1. 予防対策プログラム

時期 学科	1年次				2年次		3年次		4年次	
	前期		後期	後期	前期 健康診断	後期	前期	後期	前期	後期
	ガイダンス	健康診断								
看護学科	予防接種記録の 確認	抗体検査	予防接種	臨地実習						
理学療法学科		抗体検査	予防接種				臨地実習			
義肢装具学科					臨地実習					
臨床工学科					抗体検査	予防接種	臨地実習			
診療放射線学科										

※ 予防接種記録については、医務室で管理します。

※ 抗体検査の結果については、本人、学科、医務室それぞれで管理します。

※ 定期健康診断時の抗体検査の費用は大学で負担しますが、予防接種代等は自己負担となります。

※ 抗体検査の結果が陰性だった場合の予防接種については、委員会としては勧奨します。なお、陰性のままだと実習施設によっては断られる場合があります。

※ 診療放射線学科の抗体検査時期について、平成26年度入学生は1年次と3年次の前期に実施します。

2. 実習時期

学 科	1年生		2年生		3年生		4年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学科		○ 1週間	○ 2週間	○ 1週間		○ 12週間	○ 8週間	
理学療法学科						○ 6週間	○ 6週間×2	○
義肢装具学科			○ 5週間			○ 5週間		
臨床工学科						○ 6週間		
診療放射線学科						○ 11週間	○ 7週間	

3. 検査項目

学 科	B型肝炎	ムンプス	麻疹	水痘	風疹
看護学科	○	○	○	○	○
理学療法学科	○	○	○	○	○
義肢装具学科					
臨床工学科	○	○	○	○	○
診療放射線学科	○	○	○	○	○

感染症に対する予防接種歴調査用紙（回答用紙）

学科名： _____ 入学年（西暦）： _____
 学生番号： _____ 氏名： _____

以下の項目について、該当する欄に記入してください。表にない予防接種については、空欄にご記入ください。わかる範囲で結構です。

ワクチンの種類	備考	有無（あれば0）	接種年月日（年は西暦）			
			1回	2回	3回	追加
ジフテリア	三種混合		1回	2回	3回	
百日せき						
破傷風						
三種混合2期			1回			
ポリオ			1回	2回	3回	4回
麻疹（はしか）	1期		1回			
風疹（ふうしん）	1期		1回			
麻疹（はしか）	2期		1回			
風疹（ふうしん）	2期		1回			
水痘（水ぼうそう）			1回			
BCG			1回			
日本脳炎			1回			
おたふくかぜ（ムンプス）			1回			
インフルエンザ菌b型	Hib ワクチン 初回		1回	2回	3回	
インフルエンザ菌b型	追加		1回			
小児用肺炎球菌	7価結合型 初回		1回	2回	3回	
小児用肺炎球菌	追加		1回			
ロタウイルス	1価・5価		1回			
B型肝炎			1回	2回	3回	

*本調査の内容は、本学の個人情報管理原則に則り、厳重に保管し、臨地実習施設等からの請求があった場合のみ、提供することとし、それ以外の情報提供には使用しません。